

## (社)日本騒音制御工学会平成 22 (2010) 年春季研究発表会プログラム

開催期日：平成22年4月22日(木)

会 場：独立行政法人産業技術総合研究所臨海副都心センター  
 バイオ・IT融合研究棟11F(東京都江東区青海2-42)

基調講演：大気の物理相似則と都市での適用性・留意点 神田 学(東工大)  
 サウンドスケープ概念に基づく環境アセスメント 松井利仁(京 大)  
 騒音政策考 永幡幸司(福島大)

参加費：参加費、論文集の頒布価格は次の通りです。

				参加費	論文集頒布価格
正会員	学生会員	団体会員	賛助会員	1,500円	2,500円
会 員 外				2,500円	3,500円

懇 親 会：平成22年4月22日(木)18:00~20:00

会場：日本科学未来館7階展望レストラン「ラ・テール」

会費：6,000円(懇親会当日は満席になる可能性があります。ご出席ご希望の方はお早めに事務局までご予約下さい。会費は当日正午までに総合受付に納入下さい。)

実行委員会：

(委員長) 今泉 博之 (独)産業技術総合研究所  
 (委員) 内田 季延 飛鳥建設(株)技術研究所  
 高橋 保盛 (独)産業技術総合研究所  
 土田 義郎 金沢工業大学  
 濱田 幸雄 日本大学  
 林 健太郎 (株)ベネック振動音響研究所  
 横島 潤紀 神奈川県湘南地域県政総合センター  
 渡邊 祐子 東京電機大学

発表時間：1.発表時間は、質問討論を含めて1件18分以内とします。講演時間は15分、時間厳守願います。  
 2.発表者氏名のうち○印は講演者、◎印は研究奨励賞受賞対象者、☆印は認定技士、△印は会員外です。  
 3.座長は都合によって変更されることがあります。

発表会場：

	9:30~10:50	11:00~12:00	13:00~14:20	14:30~15:50	16:00~17:30
<b>第1会場</b> 会議室1	アクティブコントロールの 現状と将来の展望 (1)	アクティブコントロールの 現状と将来の展望 (2)	設備系固体音の現 況及び測定法 (1)	設備系固体音の現 況及び測定法 (2)	【ワークショップ】 高い周波数成分を 含む騒音の取扱い をめぐって
<b>第2会場</b> 多目的室	都市の気象と音響 伝搬の予測 (1)	都市の気象と音響 伝搬の予測 (2)	音環境デザインにお けるNoise Policy (1)	音環境デザインにお けるNoise Policy (2)	

## 第1会場

### アクティブコントロールの現状と将来の展望 ーもっと ANC 技術を広げるためにー

9:30~10:50

座長:伊勢史郎(京大),尾本章(九大)

- 1-1-1 オーガナイズドセッションにあたって ー人間の生理反応でみるアクティブ静音システムの効果ー  
○渡邊祐子(東京電機大)
- 1-1-2 招待講演 MR騒音のためのアクティブノイズコントロールシステムの検討  
○梶川嘉延(関西大)
- 1-1-3 招待講演 アクティブ騒音制御技術の住宅換気口への適用 ー自動車騒音の制御効果に関する実験的検討ー  
○穴井謙,平栗靖浩,藤本一寿(九大)
- 1-1-4 アクティブ音響シールドングに関する基礎研究:第2報 小窓に設置した場合の減音性能  
○村尾達也,西村正治,和田信敬(鳥取大)

(10分休憩)

11:00~12:00

座長:伊勢史郎(京大),尾本章(九大)

- 1-1-5 招待講演 自動車の車室内騒音制御技術について  
○井上敏郎(本田技術研究所)
- 1-1-6 招待講演 ANRUの並列設置におけるノイズセンサの配置に関する検討  
○仲島崇博((有)アクティモ),井本桂右,伊勢史郎(京大)
- 1-1-7 招待講演 仮想点制御による能動制御空間の拡大  
○矢入幹記,古賀貴士,峯村敦雄(鹿島技研)

### 設備系固体音の現況及び測定法

13:00~14:20

座長:濱田幸雄(日大),河原塚透(大成建設技研)

- 1-2-1 継手,パイプサイレンサーの水中音低減効果の測定方法に関する検討  
○☆平松友孝(音・環境研究所)
- 1-2-2 浴室系固体音の測定事例と標準加振源の検討  
○中川清(清水建設技研)
- 1-2-3 排水立管の遮音性能の試験室における測定方法  
○高橋央,☆安岡博人(ベターリビング)
- 1-2-4 排水管の振動特性と放射音に関する検討  
○河原塚透(大成建設技研),☆平松友孝(音・環境研究所)

(10分休憩)

14:30~15:50

座長:濱田幸雄(日大),河原塚透(大成建設技研)

- 1-2-5 水中音に起因する固体音低減工法について  
○増田潔(大成建設技研)
- 1-2-6 設備機器の固体音対策事例 ー温水ヒーターの固体音対策ー  
○白木秀児(三菱冷熱工業)
- 1-2-7 1/4波長音響管による純音性設備騒音の低減効果実験と適用事例  
○宮島徹,石塚崇,中川清(清水建設技研)
- 1-2-8 2階床歩行による階下低周波騒音の低減効果の測定・評価例  
○☆中野有朋(中野環境クリニック)

(10分休憩)

### 【ワークショップ】高い周波数成分を含む騒音の取扱いをめぐって

16:00~17:30

司会:廣江正明(小林理研)

- 1-3-1 分科会設置の経緯とワークショップ開催について  
○廣江正明(小林理研)
- 1-3-2 鉄道騒音に含まれる高周波音の調査結果  
○緒方正剛(交通安全研),樋田昌良(名古屋市環境科学研),廣江正明(小林理研)
- 1-3-3 高い周波数領域における騒音計の周波数レスポンス  
○瀧浪弘章(リオン)
- 1-3-4 高い周波数領域における聴力の個人差  
○倉片憲治,水浪田鶴(産総研)

## 第2会場

### 都市の気象と音響伝搬の予測 –国際的な研究動向と研究事例–

9:30~10:50

座長:今泉博之(産総研),菅原政之(空環協)

2-1-1 基調講演(40分) 大気の物理相似則と都市での適用性・留意点 ○△神田学(東工大)

2-1-2 招待講演 自治体向け緊急情報伝達システムの構築とその現状 井上真志, ○△山口康紀, 栗栖清浩(TOA株式会社)

2-1-3 招待講演 欧州の騒音予測プロジェクト HARMONOISEと IMAGINEにおける騒音伝搬計算法の紹介

○大久保朝直, 山本貢平(小林理研)

(10分休憩)

11:00~12:00

座長:今泉博之(産総研),菅原政之(空環協)

2-1-4 招待講演 国際規格にみる気象を考慮した騒音伝搬予測と都市域への応用の可能性 ○大島俊也(リオン)

2-1-5 招待講演 航空機騒音監視システムで長期観測した防災無線定時放送音のレベル変動

○井出将臣, 花香和之, 篠原直明(成田空港振興協会)

2-1-6 トンネル坑内を伝搬する発破低周波音の予測に関する研究 その1. 実測調査に基づく坑内伝搬性状の検討

○小林真人, 渡邊博(飛島建設)

### 音環境デザインにおける Noise Policy

13:00~14:20

座長:塩川博義(日大),森原崇(石川高専)

2-2-1 趣旨説明(10分) 音環境デザイン分科会の歩みと役割

○土田義郎(金沢工大)

2-2-2 基調講演(30分) サウンドスケープ概念に基づく環境アセスメント

○松井利仁(京大)

2-2-3 騒音制御工学会の研究動向

○船場ひさお(横浜国大VBL)

2-2-4 インターノイズにおける研究動向

○川井敬二(熊大)

(10分休憩)

14:30~15:30

座長:土田義郎(金沢工大),船場ひさお(横浜国大VBL)

2-2-5 基調講演(30分) 騒音政策考

○永幡幸司(福島大)

2-2-6 (討論) Noise Policy; いかなる道をいかに示すか?

# 会場案内

(社) 日本騒音制御工学会 平成 22 (2010) 年春季研究発表会

開催日時: 平成 22 (2010) 年 4 月 22 日 (木) 9 時 30 分～

発表会場: 独立行政法人 産業技術総合研究所 臨海副都心センター バイオ・IT 融合研究棟 11 階

懇親会場: 日本科学未来館 7 階展望レストラン LA TERRE(ラ・テール)

## 発表会場への行き方

### 1. JR 新橋駅より

新交通ゆりかもめ乗車 テレコムセンター駅下車 (18 分) 徒歩約 4 分

### 2. 東京モノレール天王洲アイランド駅または JR 京葉線新木場駅より

東京臨海高速鉄道りんかい線乗車 東京テレポート駅下車 徒歩約 15 分

### 3. 東京テレポート駅より

都バス 海 01 門前仲町行き乗車 ———— テレコムセンター駅前下車 徒歩約 5 分

波 01 中央防波堤行き乗車 ———— シンボルプロムナード公園前下車 徒歩約 4 分



## 会場配置図

(バイオ・IT 融合研究棟 11 階)

